

1. ハイフレックス型授業（対面・ライブ授業の併用）運用の前提条件

滞留学生が 200 人程度と限定して運用する。但し、滞留学生の授業外利用（YouTube 等の動画視聴）は許可しないことが重要である。

2. 機器利用の目安（本郷・ふじみ野キャンパス共通）

全教室 50%以下で収容、教員は有線 LAN 利用とスクリーン利用を推奨。

学内無線 LAN のキャパシティーからは、学生の文字・画像ベースでの Teams 利用は可。

※ ライブ型授業の受信については、可能な範囲で分散型教室のスクリーン利用などのデータ量対策の協力を求める。また、ライブ授業は録画を推奨する。

3. 通信量増加への対応状況

① 本郷

■ インターネット接続回線

2 月 2Gbps（有線 LAN：1Gbps、無線 LAN：1Gbps）

4 月 3Gbps（有線 LAN：1Gbps、無線 LAN：2Gbps）

6 月 7Gbps（有線 LAN：1Gbps、無線 LAN：5Gbps、他 1G：バックアップ）

■ 無線 LAN：昨年度に最新 AP 機器に入れ替え済み。通信困難な時には無線 AP や Pocket Wi-Fi を当該地帯に投入する。

② ふじみ野

■ インターネット接続回線

4 月 2Gbps（有線 LAN：1Gbps、無線 LAN：1Gbps）

（通信量に合わせて、回線契約の追加も検討する。）

※ 場合によっては、ふじみ野キャンパスの通信データを本郷キャンパス側に流して通信負荷を分散する。

■ 無線 LAN：全教室カバー範囲に最新 AP 機器を導入済み。通信困難な時には Pocket Wi-Fi を当該地帯に投入する。

以上